

桐生繊維大学 開校

9月7日(火)、「桐生繊維大学」を開校し、受講生オリエンテーションを行いました。

同大学は、「繊維産地・桐生」の活性化に向けて、生産から販売にわたる繊維産業の幅広い知識の習得および産地の次代を担う人材育成を目的に、平成7年よりスタートし、修了者は既に499名を数えます。27期目となる今年度は10名が参加し、来年2月までの約半年間、講義（以下のとおり）を開催します。



（写真は繊維大学・講義の開催風景）

【今後実施予定の講義は以下のとおり】

オリエンテーション／最近の繊維産業の動向／撚糸／化学繊維の現状とこれからの展開（性能、構造、高機能化）／産地の構成と特色／天然繊維の現状とこれからの展開（性能、構造、高機能化）／加工技術／染色の基本・染色の実習①②／堅牢度試験 実習／伝統織物と組織について／繊維工学の基礎と Topics①②／品質管理／複合繊維について／織機・機仕掛けについて／マーケティング①②③／ジャパンクリエイション展示会視察／桐生地域内工場視察

桐生テキスタイルプロモーションショー開催事業(TPS) スタート



（写真はコンセプト発表会の開催風景）

9月10日（金）に TPS コンセプト発表会が開催され、総合プロデューサーの福田敏雄氏（エフプラスカンパニー代表）より、今回のコンセプトテーマが発表されました。

今回のテーマは Signature（シグネチャー）。主に署名、サインという意味。シグネチャーアイテムは「特徴的な」という表現で、ブランドを代表するブランドならではのデザイン品のことを指します。新たな潮流の中、再度、桐生の各社が持つ伝統、技術、企画力を、「桐生 MADE」、「MADE IN JAPAN」というシグネチャーモデルで新たに提案し、自分達の価値や強みを見極め、持続可能な未来に向け新たな一歩を踏み出すサインとしての展示会を目指します。

桐生市インキュベーションオフィス入居者募集中

桐生市インキュベーションオフィスでは現在、入居者を募集しております。創業者や経営革新を目指す中小企業に対して以下の内容でオフィス用ブースを提供しております。

A タイプ：約 20㎡ 33,000 円（税込）

B タイプ：約 10㎡ 11,000 円（税込）

ブース内は、デスク、イス、文書棚等が整備され、24 時間利用可能です。また、産学官連携機関による技術相談や、インキュベーションマネージャーによる事業サポート等、幅広いソフト支援も受けられます。

◇お問合せ先：地場産センター振興課 Tel（46）1011

「世界の民族衣装展」開催



10月19日（火）から11月21日（日）までの間、世界の民族衣装展「インド」を開催しております。

民族衣装展は、当センターで収蔵管理している資料（世界の民族衣装）の中から、テーマを定めて美しく素晴らしい染織資料を紹介するもので、今回の「インド」展では、サリーやショール、絞り染めのターバン、刺繍やキルトなどが施された衣装・装飾品などを展示公開しております。

◆開催時間：

休館日の月曜日を除く、午前10時から午後4時まで

「マフラー&ストールの街・桐生」秋冬物展示・開始



（写真は「マフラー&ストールの街・桐生」展示風景）

当センター1階「地域産品展示販売コーナー」入口付近に設置する「マフラー&ストールの街・桐生」展示について、10月より秋冬物の展示を開始しました。

本展示は、今年5月より、「マフラー&ストールの街・桐生」のブランド化推進を目的に実施しているもので、今回の秋冬物の展示では、桐生市内のマフラー等製造業者22社の商品を一堂に集めPRをしております。

○主な行事記録

9月7日	火	桐生繊維大学「受講生オリエンテーション」	地場産センター
9月14日	火	桐生繊維大学「最近の繊維産業の動向」 講師：群馬県立繊維工業試験場 研究調整官 篠原正人 氏	地場産センター
9月15日	水	桐生商工会議所主催「インターネット販売コンプライアンス・セミナー」（職員受講）	地場産センター （オンライン受講）
9月16日	木	桐生繊維大学「燃糸」講師：群馬県立繊維工業試験場 生産技術係長 齋藤宏氏	繊維工業試験場
9月21日	火	「桐生クラフト」ブランド委員会 第1回会議（役員出席） 桐生繊維大学「化学繊維の現状とこれからの展開」 講師：群馬工業高等専門学校 名誉教授 小島昭氏	桐生商工会議所 地場産センター
9月28日	火	桐生繊維大学「産地の構成と特色」講師：業界関係者	地場産センター